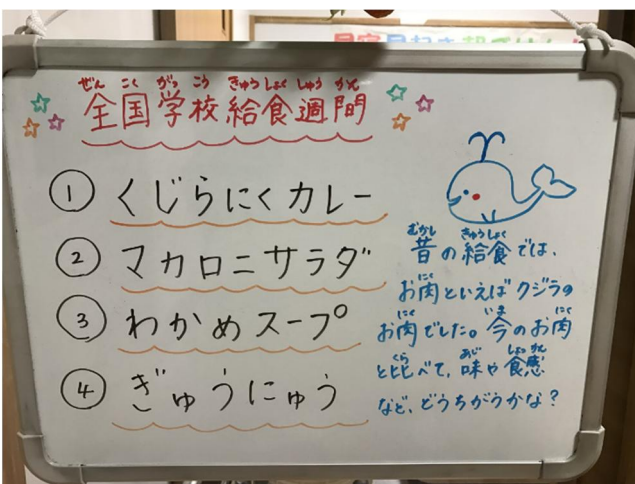
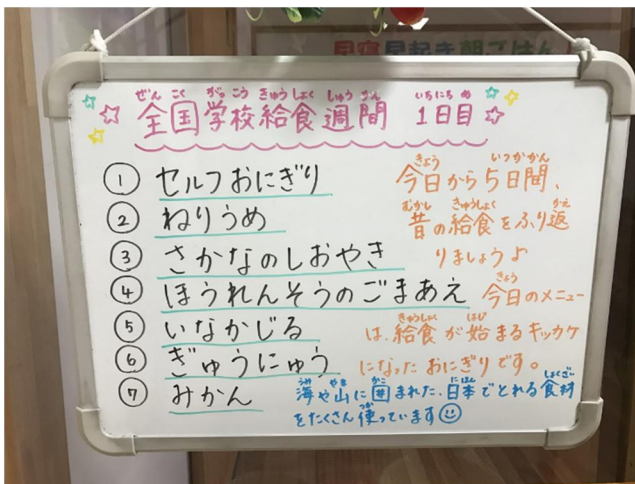


1月の献立

平成29.01

1月に「全国学校給食週間」がありました。

日本で学校給食が初めて実施されたのは明治22年ですが、戦争のために学校給食が中断されたこともありました。しかし昭和21年6月にラウ（米国の民間団体）より、給食用物資寄贈によって昭和22年12月24日より、東京都・神奈川県・千葉県で約25万人の児童を対象に、学校給食が再開されることとなりました。それ以来、12月24日を「学校給食感謝の日」と定めていましたが、ラウ、ユニセフ等による給食用物資の寄贈に対する感謝の気持ちと、学校給食が戦後再開した意義を考え、学校給食による教育効果を高める観点から、1月24日から30日までの1週間が「全国学校給食週間」となりました。



津久井養護学校でも23日（月）から27日（金）の1週間は「昔の給食」を振り返るための給食ができました。23日（月）の献立は、初めての学校給食といわれている明治22年山形県忠愛小学校の「おにぎり・塩鮭・漬物」をイメージしたものでした。26日（木）は、鯨肉カレーができました。鯨肉は昭和30年代から40年代の学校給食で安価で高たんぱく・高铁分など、成長期に必要な栄養がとれることから全国的に利用が高まっていたのですが、その後、南極海での商業用捕鯨の禁止などにより、一般には鯨肉が供給されなくなりました。この鯨肉カレーで初めて鯨肉を食べたという児童・生徒も多かったのではないのでしょうか？不思議そうな顔をして食べている人もいました！